資料５－１

日本語教師【初任】（就労者）研修における教育内容（案）

	3 領域	5 区分	16 下位区分	教育内容
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	社会･文化･地域	①世界と日本	(1)労働法・社会保障制度
			②異文化接触	(2)日本の外国人材受入れ施策 ･就労に関わる在留資格 ･精神衛生
			③日本語教育の歴史と現状	(3)就労者に対する日本語教育 ･ビジネス日本語教育の変遷 ･就労に関わる日本語能力の要件
		言語と社会	④言語と社会の関係	(4)就労者の多様性 (5)日本と海外の雇用制度の違い
			⑤言語使用と社会	(6)職場におけるコミュニケーション分析 ･ビジネスマナーの理解 ･言語･非言語行動 ･職場環境による幅広い待遇表現の使い分け (7)キャリア支援と日本語教育
			⑥異文化コミュニケーションと社会	(8)就労者の異文化受容・適応 ・異文化間トレランス
	教育に関わる領域	言語と心理	⑦言語理解の過程	
			⑧言語習得･発達	
			⑨異文化理解と心理	(9)学習動機と就労現場における学習者心理 ・職場におけるトラブル（ケースワーク） ・就労準備・職場における学習者の成長と発達
	言語に関わる領域	言語と教育	⑩言語教育法･実習	(10)コースデザイン演習 ・ニーズ分析（対雇用先，対学習者） ・学習内容 ・カリキュラムデザイン ・教材作成 (11)教授法 (12)各種指導法 ･就労準備，就職後の職場適応教育，キャリアアップのための上級ビジネス日本語教育等の段階別指導方法 (13)日本語能力の評価 ･レベルチェック ･自己評価と他者評価 ･パフォーマンス評価 ･フィードバックの方法（対雇用先，対学習者） (14)指導力の評価 ･自己点検 ･経験の振り返りや議論等を通じた内省力の強化（経験や他者を通して学ぶ力の育成）
			⑪異文化間教育とコミュニケーション教育	(15)職場コミュニケーションに関する言語間対照
			⑫言語教育と情報	(16)就労のための日本語教育の教材･教具のリソース

		言語	⑬言語の構造一般	
			⑭日本語の構造	
			⑮言語研究	
			⑯コミュニケーション能力	(17)異文化調整能力 ・談話構成能力 ・議論能力 ・専門家以外に対する学習効果や日本語教育の必要性の説明